

笠岡諸島へのご提案

令和5年12月23日

畑野陽子

畑野の職歴

～6か国の機関に勤務～

- フィンランド大使館 商務部
- ブルガリア大使館
- インドネシア大使館 経済部
- ギリシャ大使館 経済商務部
- 英国大使館 商務部
- アメリカ大使館 商務部

外交官

- 特命全権大使 Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary
- 公使 Minister Plenipotentiary/Deputy Chief of the Mission
- 公使参事官 Minister-Counsellor
- 参事官 Counsellor
- 一等書記官 First Secretary
- 二等書記官 Second Secretary
- 三等書記官 Third Secretary
- アタッシェ Attache

組織・役割

- 大使室／公使室
- 領事部
- **商務部**
- **經濟部**
- 文化部
- 広報部
- 政治部
- 武官室

笠岡諸島のポテンシャル（可能性）

- 東京や都市部ではできないこと
- 原点方式ではなく加点方式で「ポジティブ」を発掘
- 古いモノ・コト [歴史&伝統] > ピッカピカ [新しいモノ・コト]
 - ☆「開運 なんでも鑑定団」
 - ☆白石踊り（世界無形文化遺産：風流踊り）
 - ☆鞆の浦（世界記憶遺産）←近隣
- 豊かな自然・景観 > 「スクラップ&ビルド」による開発
 - ☆瀬戸内海（国立公園第一号） > 海上太陽光発電

何に活かす？

• ステップ1 観光（訪問者）

(1) 島ごとの「アルベルゴ・デフィーゾ」の整備

1. 昨今の気候・環境問題の観点から：

⇒◎自然・文化・歴史を残すコンセプトが重要 ✕「スクラップ&ビルド」の開発

2. 各島では、すでにその要素を担っておられる：

⇒産（官）学でワーキンググループなど、チームを作って整備

※矢掛町例

3. アグリツーリズム（イタリア語）

(2) ターゲット市場 西側ヨーロッパ 台湾

1. 観光先進国 = FIT [Foreign Independent Tour/Free Individual Traveller]（個人旅行）

⇒質 > 量 ⇒長期型 > 短期型 ⇒体験（ふれあい） > 見物

⇒対応が比較的安易（食事・宗教） ⇒旅行会社を通さない（ネット検索用の対応要）

何に活かす？（続き）

(3) 問題点 オーバーツーリズム（観光公害）

- 地域住民の生活や自然環境、景観等に対して受忍限度を超える負の影響をもたらす
- 観光客の満足度を著しく低下させる
- 観光客の増加によって交通機関の混雑や交通渋滞
- ゴミや騒音など生活環境の悪化による住民の被害、反発
- 自然環境が脅かされる→保護のためにビーチなどの閉鎖が余儀なくされる
- 住民 > 観光メリット > 経済

事例：フランス　ギリシャ　オランダ　スペイン　日本（京都　鎌倉）

何に活かす？

- ステップ2 移住者（居住生活者）

観光客⇒移住者（国内移住者・海外からの移民）

- 外国人移住者⇒旅行観光業従事者が多い
- 問題点 移住者の地域“乗っ取り”
- 対策 日本・日本人のアイデンティティ←歴史・文化

ローカライゼーション（地域化・現地化）

- ローカライゼーション > グローバリゼーション
- 地域完結型経済 ← 環境負荷が少ない
- 地産地消 自給自足
- 少量多種・手作り > 大量生産・大量消費
- 上記↑ミドルクラス以上に求められる市場
- 現在はヨーロッパ市場が先導・優位に立っている
- 日本（地域）の原種、和種、伝統手法など「モノ・コト」の掘り起こし、復活、復興

「笠岡諸島」の独立したホームページの作成

- 海外からのアクセスをも考えた「@kasaoka-islands.jp（例）」のドメインを取得
- 一企業・団体の運営ではなく、笠岡市、笠岡商工会議所または任意グループなどの機関が運営。運営作業は業務委託も可。
- ホームページ上では、各島に関する内容（将来的には各島のアルベルゴ・ディフィーゾも含む）の他、笠岡諸島の産品を使った商品を扱う業者を集結して掲載する（各業者へのリンクも可）。
- 例：笠岡商工会議所HPに「ラーメンのまち笠岡 備中備後麺の道」
- ECサイトも連結させて、掲載した業者の商品が購入できるようにする〔コンセプトは「1社の10歩より10社的一步」〕。
- 掲載する構造、コンテンツは多言語、外国人ユーザーにも通用するサイト・デザインにする。

玉島で始めたボランティア活動

